

キャンパスライフに対するアンケート結果（令和4年度）

稲吉 政岳、桑原 真裕子、武分 祥子、
竹村 香、林 正樹、三浦 弥生、渡邊 千春

1. 目的

本学学生の学生生活に対する満足度を調査することにより、短期大学職員の在り方を見直し、業務改善及び施設設備の充実を図る一助とする。

2. 調査方法

(1) アンケート調査

(2) 対象：本学に在籍する全学生（悉皆調査）

(3) 調査期間：令和5年1月18日～令和5年1月25日

(4) 調査内容：質問項目は、対象者の属性、サポート体制、教育施設・設備について

(5) データ収集方法：オクレンジャーによるアンケート内容の送信と各自入力後の返信

(6) 分析方法：単純集計（オクレンジャー）

3. 結果

対象者数 438 人中回収数 355（回収率 81.1%）

(1) サポート体制

履修登録や単位取得について相談できる体制については、92.4%が整っていると回答した。

休講などの連絡が学生にわかりやすく情報提供されているかについては、76.6%が提供されていると回答した。Web休講サイトの利用状況については、43.9%が利用していない、37.2%が休講サイトを知らないと回答した。学生便覧を活用しているかについては、65.4%が当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した。

学生生活について相談できる体制については、87.9%が整っていると回答した。奨学金制度などの経済的サポート体制については93.0%が整っていると回答した。からだやこころの健康について相談できる環境があるかについては、8割以上がその環境にあると回答しており、その理由は、健康センターがあること、健康センター教職員による相談体制の充実とアドバイザーの存在であった。進路・就職サポート体制に

ついて全般的に満足しているかについては、94.4%が当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した。

職員の対応に満足しているかについては、財務・庶務課、広報課、教務課、学生課、地域連携センターおよび図書館の全てにおいて、当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した者が9割以上であった。

(2) 教育施設・設備

講義室・実習室等の教育施設について全般的に満足しているかについては、89.3%が当てはまる、どちらかと言えば当てはまると回答した。

自習スペースについては、十分と回答した者は65.9%であった。

教室の空調の効きについては、十分と回答した者は79.2%であった。

キャンパス内の美化については、94.6%が行き届いていると回答した。

駐車場については、利用者の69.0%が利用しやすいと回答した。

4. 考察

(1) サポート体制

履修、学生生活、健康面のサポート体制は比較的整っている。学生便覧の活用の充実が求められる。

職員の対応については、満足を得ている。

(2) 教育施設・設備

自習スペースの確保、空調、駐車場の整備を今後も心掛ける必要がある。キャンパス内の美化は行き届いている。

5. まとめ

ここで得られた結果を各部署で共有し、連携の下で検討及び改善し、学生の満足度を向上させていきたい。